

〈施設の運営理念〉人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心安らぎの場を提供します。

vol. 22
2018.6.15

西陣憩いの郷だより

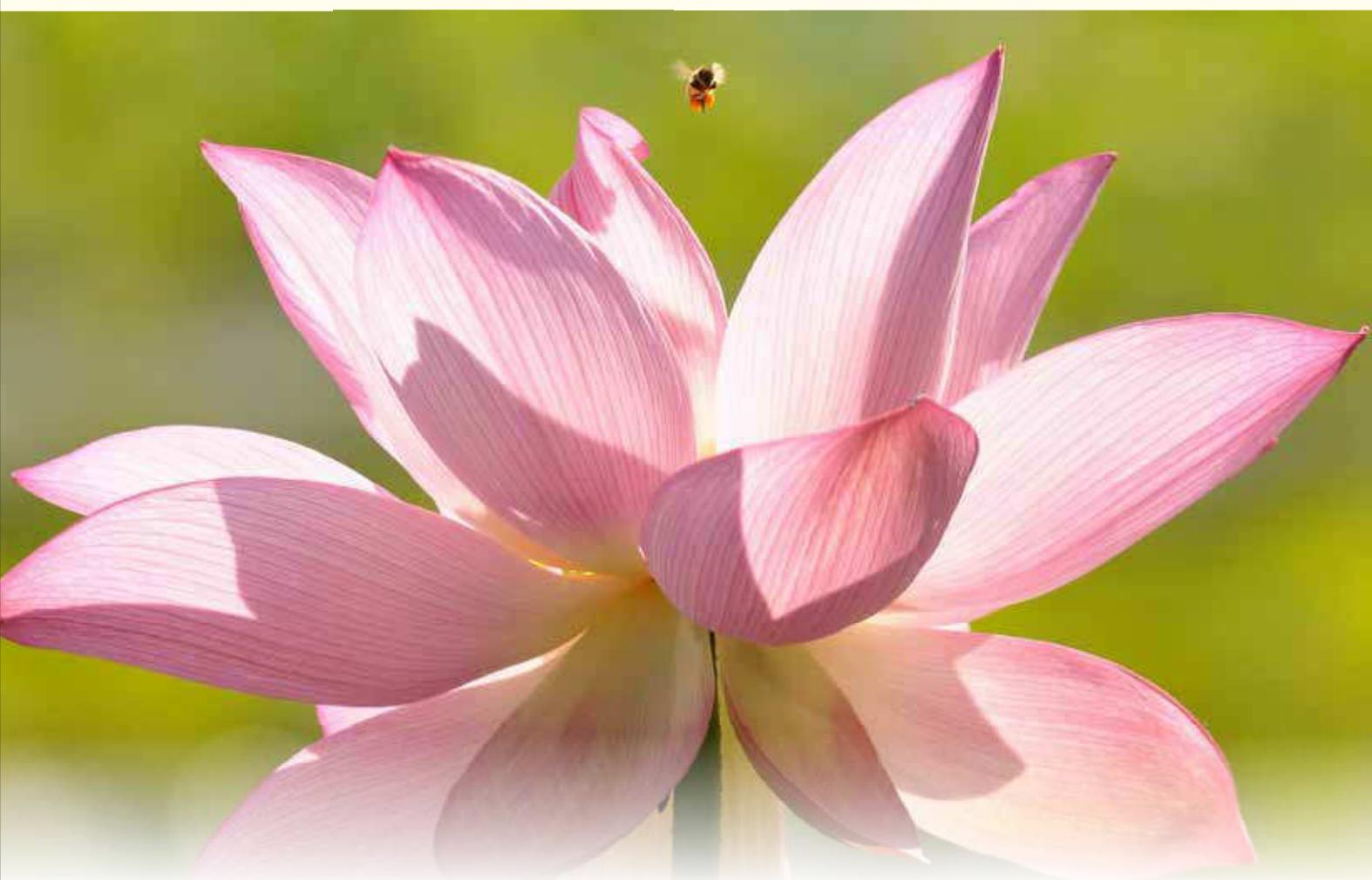


Photo by Fujino

そのような伝統ある「西陣憩いの郷」の施設長という大役を仰せつかり、その重責に身が引き締まる思いですが、と共に働く大切な職員の皆さん之力、そして相馬隆人理事長はじめ役員各位のご指導を賜りながら、これまで培った保健福祉分野での行政経験を微力ながらも傾注させていただければと願っています。

今後とも、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げ、新任のご挨拶とさせていただきます。

私は、本年3月末を以て京都市役所を退職し、このたびご縁あって当施設でお世話になることになりました。

「西陣憩いの郷」は平成17年5月の開設当初から、今や主流となっている「ユニットケア」をいち早く導入して以後、ユニットケアの更なる高みを目指し、10年以上の歳月を懸けてサービスを磨き上げてきた、京都市における個室ユニットケアの先駆的な施設です。

平素、「西陣憩いの郷」のご入居者様及びショートステイご利用者様、並びにご家族様はじめ関係各位の皆様におかれましては、格別のご理解・ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

このたび、4月1日付で施設長に就任致しました塩見徹也と申します。



施設長 塩見 徹也

はじめまして

よりきめ細かいサービスで

～平成30年度事業計画～

- ◇ 事故の無い、安全で快適な暮らしを提供します。
- 問題意識・安全管理に対する意識と職員の「気づき」や「察し」の部分を高められるように教育します。
- 看取りケアを実施することで、より良い最期を迎えるよう努めます。
- 入居者にとっては心安らかで尊厳ある死を迎えるよう、またご死を迎えて頂けるよう、またご

心豊かな日々を送っていただけるように

社会福祉法人 北野健寿会
特別養護老人ホーム 西陣憩いの郷

特別養護老人ホーム“西陣憩いの郷”は、今年5月1日で開設13年を迎えました。開設以来、「人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心安らぎの場を提供すること」を施設運営の基本理念として、日々の施設運営の中でその実現に努めてまいりました。

平成30年度も施設運営での経営収支のバランスを図りながら、社会福祉法人として地域社会への貢献事業の拡大、介護人材の確保、経年に伴う建物設備の修繕などの維持管理などに取組み、健全な施設運営に向け職員一同懸命に職務に励んでまいります。

経営の安定化を目指す取り組み

〔現状と課題〕

- 職員の安定雇用への取り組み
- 全国的な高齢者福祉施設の「深刻かつ慢性的な人員不足」の現実から本施設も免れることができず、慢性的に厳しい人員体制での運営を余儀なくされています。特に新卒の採用はより一層厳しくなることが予測されますので、大学・専門学校の訪問、就職フェアへの参加等に加えて、高等学校へも積極的に訪問して人材の確保に努めます。

〔経費適正管理で、経営の安定化へ〕

- 平成30年度は、介護報酬と医療報酬の同時改定が行われました。
- 介護報酬全体では0・54%の報酬アップで、当施設のサービスでは基本報酬が微増、また施設をあげて取り組んできた「看取り介護」に対する加算額がアップしますので、こちらも若干ですが增收となります。

この介護報酬改定をふまえ、30年度の予算額を算出しました。サービス活動収益は5億6,841万円、サービス活動費用は5億2,643万円、サービス活動増減差額を約4,197万円と予定しています。

費用面につきましては、人件費の比率が年々増加の傾向にあります。国は介護職の賃金について処遇を改善するために、29年度に臨時の介護報酬改定を行いました。当施設でもキャリアアップの仕組みを構築して、月額平均1万円相当の改善を実施しました。離職の抑制や新規採用の促進のためにも、職員の給与等の待遇維持は福祉施設にとって不可欠な課題であります。

ハード面では、空調機器や電気給湯器、自動ドアなど設備の大小はあります。が、経年劣化による電気系統の不具合、ベッド・椅子などの家具の故障などが生じ修理の頻度が高まっていきます。29年度にはテレビ共同受信施設の改修工事、電動ベッドの総点検・修理、電気給湯器の一部入替を行いました。今後はさらに大規模な費用が予想される電話設備や介護支援システムの更新(ナースコール・ベッドセンサー等)、また居室整備の一つとして居室のカーテンの新調などについての支出を見込む必要があります。

- (5)職員の安全・衛生対策の充実
- 労使による安全衛生委員会の活動強化
- ストレスチェックの継続実施と全体評価
- (6)建物設備のメンテナンスの効率化
- 経年劣化による修理・保全点検の計画的実施
- (7)新規事業や事業の拡充などの構想と検討

介護の質の向上を目指す取り組み

〔介護担当部門の目標〕

- ◇ケアの質の向上を目指し、専門的知識や技術の習得に努めます。
- 職員全員がケアについて深く考え、常に「何故そうするのか?」という思いでケアを行うようにします。
- 個別ケアを向上させるために、入居者に対するアセスメントを丁寧に行なう事で、介護が効率優先や一斉介護になつていなか見直します。
- 認知症の方の全ての言動には、本人なりの理由(根拠)があることを理解し、その原因を探つていくことで安心して生活を送つてもらえるよう努めます。

- 楽しい雰囲気の中で食事を摂つて頂くことにより、一日の生活の中に楽しみを持つて頂けるようになります。
- 個々の嗜好に配慮し、旬の食材を使用して、見た目にも美味しく見えるようにし、視力・聴力・嗅覚・触感・味覚の五感を刺激しながら食事を味わつて頂きます。
- 行事食やユニットでのおやつ作りを充実させ、いつもと違う雰囲気で食事を味わつて頂きます。

- サービス担当者会議に、ご入居者ご家族が参加していくことで、内容を充実させ、ご入居者・ご家族のストレス管理やメンタル面での対応ができる職場環境を作ります。
- リーダー以外の職員にも積極的に外で職員の定着を図つてていきます。
- セルフケア研修を行い、職員が自身をケア出来るように、また職員のリーダーの扱い手を育てる意味でも、リーダーの扱い手を育てる意味でも、職員がそれぞれセルフケア出来ることで、ご入居者・ご家族の意向に添えるケアの提供と環境を整えます。
- ご家族の看取りに対する不安や淋しさを、少しでも緩和できるように係わりをつけていきます。

- ご家族においては大切な思い出となるよう、他職種と連携することによって、ご入居者・ご家族の意向に添えるケアの提供と環境を整えます。
- ご家族の看取りに対する不安や淋しさを、少しでも緩和できるように係わりをつけていきます。
- ご家族が参加していくことで、内容を充実させ、ご入居者・ご家族のストレス管理やメンタル面での対応ができる職場環境を作ります。
- リーダー以外の職員にも積極的に外で職員の定着を図つてていきます。
- セルフケア研修を行い、職員が自身をケア出来るように、また職員のリーダーの扱い手を育てる意味でも、リーダーの扱い手を育てる意味でも、職員がそれぞれセルフケア出来ることで、ご入居者・ご家族の意向に添えるケアの提供と環境を整えます。
- ご家族の看取りに対する不安や淋しさを、少しでも緩和できるように係わりをつけていきます。
- ご家族が参加していくことで、内容を充実させ、ご入居者・ご家族のストレス管理やメンタル面での対応ができる職場環境を作ります。
- リーダー以外の職員にも積極的に外で職員の

行事食のご紹介

2月から4月

平成30年2月3日「節分」



恵方巻
鰯の甘露煮
ふろふき大根
二色そうめんの清まし汁
節分卵ボーコ



平成30年2月14日「バレンタインデー」

間食：チョコレート
ケーキ

平成30年3月3日「ひなまつり」



ちらし寿司
茶碗蒸し
小松菜のなめたけ和え
二色そうめんの清まし汁



間食：ひなあられ、三色花ゼリー



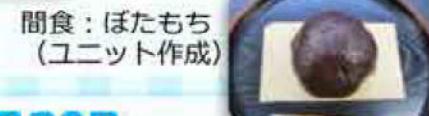
平成30年3月14日「ホワイトデー」

間食：ストロベリー
ショートケーキ

平成30年3月21日「春分の日」



筍ご飯
鶏肉のデミグラスソース煮
粒マスタード鰯の梅醤油焼
かぶらのあんかけ
ブロッコリーの
グリーンサラダ
小花鮪の清まし汁
みかん缶



間食：ぼたもち

(ユニット作成)

平成30年4月29日「昭和の日」



豆ご飯
鯵の香味焼き
ミニチカツ
ふきとうす揚げの当座煮
春キャベツとアスパラの
サラダ
玉ねぎと竹輪の味噌汁
フルーツカクテル

出張にぎり寿司



むさし寿司の職人さんが
目の前でお寿司を握って
くれました!



湖陽小学校との交流会



折紙やクイズ、リコーダー
の演奏などを披露して
くれました♪



行事のご報告

平成30年2月から5月

書道レクリエーション



書道レクは毎月2回
開催しています。

手作り桜もち



あんこを生地で包み、
桜の葉をくるりと巻いて
桜もちの出来上がり!

大正琴ライブ



名古屋のアンサンブル
グループ「あいわすさん
ぐる」の演奏を楽しみました。

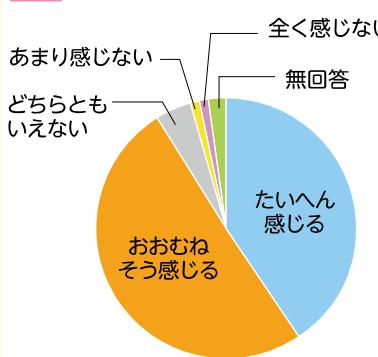
アンケート結果のご報告

西陣憩いの郷では、ご利用者ご家族様に、よりご満足いただける介護サービスの提供をめざし29年度に初めてアンケートを行いました。たくさんの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。アンケートの集計結果と、改善に向けての取り組みを一部ではありますがご報告させていただきます。

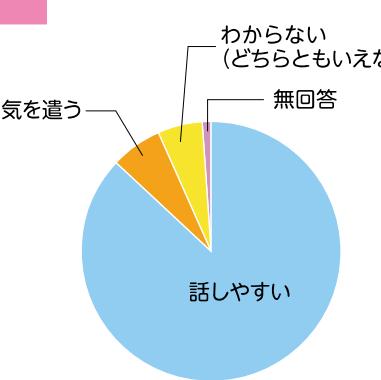
平成29年度 アンケート結果(特養・ショート共通項目)

実施期間 平成30年2月15日～3月31日 配布数 151枚 回収 91枚 回収率 60.3%

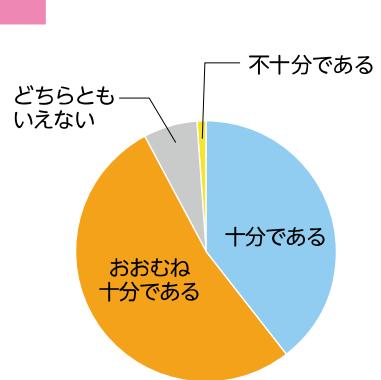
1 ご利用者(入居されているご家族等)は、日々安心して暮らしておられるかを感じられますか。



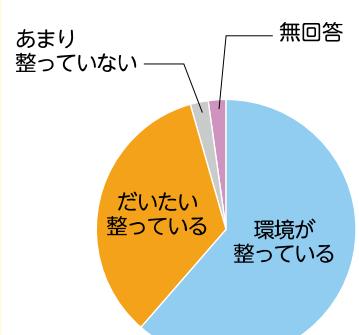
2 職員は相談などを含め話がしやすいですか。



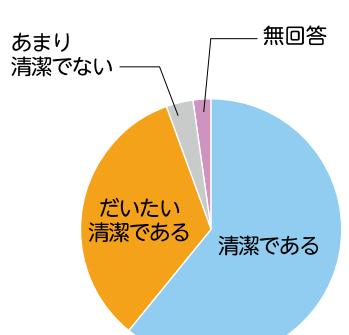
3 施設からご利用者様の生活や健康状況について十分連絡できていますか。



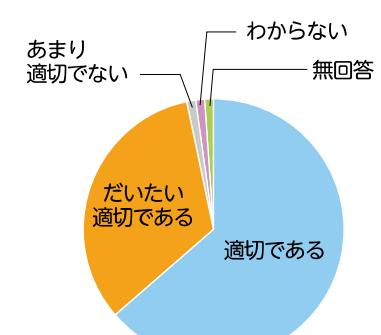
4 照明や空調、臭気、騒音、装飾及びくつろげる場所等、ご利用者様が快適な生活を送れる環境となっていますか。



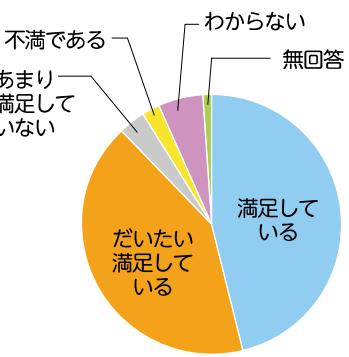
5 施設内は清潔ですか。(玄関、居室、リビング、トイレ、風呂場など)



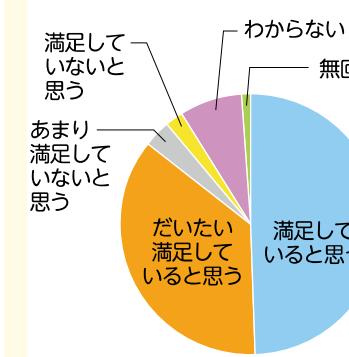
6 ご利用者の方やご家族に対して、職員の言葉遣いや対応は適切ですか。



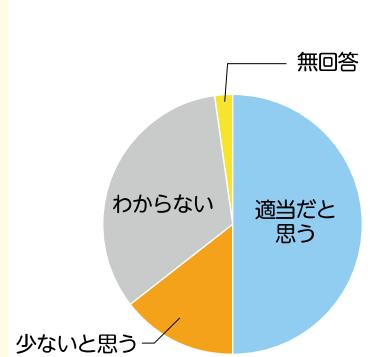
7 職員の介護や看護に関する専門的知識や技術などに満足していますか。



8 ご利用者様は食事の時間や味付け、品数、盛り付け、雰囲気など、食事には満足されていると思われますか。



9 施設でおこなわれている行事について



頂いたご意見の一部です

ご意見・お喜びの声

本人の体調、症状などをスタッフが共有して連絡を密にしてくださっている事に感謝。

家族は安心して生活ができますが、本人は生活が単調になりがちなように感じます。

トイレにおいてがしないのがすばらしいです。ただ、トイレや部屋によくゴミが落ちていますが掃除は週何回ぐらいあるのでしょうか。

冷凍野菜が多いらしいですが、生野菜の料理もほしい。煮魚の味付けをチョット考えてほしい。

家族が参加できる行事や取り組みがあればいい。本人は曜日や日にちがわからなくなってきたので『何曜日は何がある』とか週に1回だけでも同じ取り組みがあれば有り難いです。

毎回ショートから帰ると本人から”家を思い出さへんかったわ””帰ろうと思わへんかったわ!””長い間行かしてもうてありがとうございます。”と言っています。この言葉が全てだと喜び安心しております。本当にありがとうございます。

改善の取り組み・ご回答

今後も、ご入居者の体調変化には速やかに対応して参ります。

個別ケアの推進は施設としても継続したテーマです。今後も引き続き取り組んで参ります。

毎月1回、施設長、事務長、職員代表が施設内の安全衛生状態をチェックする『安全衛生パトロール』を実施しています。基本的にご入居者の個室は対象から外していますが、職員からのヒヤリング等で情報収集に努め、対応します。個室は週1回清掃しています。

口から食べることはとても大切なことです。毎月開催している『栄養委員会』で継続してご入居者にとって、安全でおいしく食事をしていただくためにどうしたらよいかを検討していきます。

現在月2回実施している書道レクや各フロアで実施している夏祭り等にはご家族も参加されています。施設内の掲示等で事前にお知らせしていきますので、ご家族のご参加をお待ちしております。

ありがとうございます。職員一同、このように言っていただけ励みになります。これからもご利用者様にとって、また利用したいと思っていただける施設を目指していきます。



介護支援専門員
(ケアマネジャー)

産地: 京都

黒田 貴哉

3月1日付で介護主任に就任しました。今まで介護支援専門員の立場としてご入居者、ご家族と関わらせていただきました。これからは介護主任として、一層皆様の身近な存在となり、ご入居者お一人おひとりにとって「安心・安らぎの場」となるよう全スタッフで考え、取り組んでいきたいと思います。今後もご入居者、ご家族との関わりを大切に、笑顔が絶えない施設を創り、「この西陣憩いの郷で良かつた!」と思っていただけのよう努めてまいります。

職員紹介

介護主任 杉山久美子



平成30年度 入社式と新入職員研修

新しい職員を迎えました！

屋上のしだれ桜が満開の4月2日、平成30年度入社式を執り行いました。また4月2日～6日には新入職員研修を行い、昨年度の途中採用者4名を含

む計12名の職員
が参加しました。
今年は、排泄
研修の中で参加
者全員にオムツ
で実際に排泄を
してもらいまし
た。この体験で
感じたことが、
これからのかア

に役立てばと
考えておりま
す。少しでも利
用者の気持ち
に寄り添つた
ケアが出来る
職員を育成で
きるよう努め
てていきます。
どうぞ皆さま、
温かい目で見
守つてやってくだ
くお願いいたしま



介護業務支援担当総主任 横山由記

ついていた時、私が元気をもらつて
いるんだなと改めて思い、何気ない
ご入居者の方の一言で、頑張ろうと自
分自身が勇気をもりえ、やり甲斐を感
じる瞬間だなど感じました。

介護に携わるひとりとして、ご入居者様の笑顔が見られるように努めて行きたいと思います。まずはお一人おひとりと関わり、自分を知っていたらしく事から始めていきます。



新入職員代表

琵琶湖の東側に突き出た三角の半島『烏丸半島』に日本有数の花蓮の群生地がありました。行かれた方も多いと思います。ところが2年前、2016年7月、例年なら夏の湖面を覆い尽くすバスが消えてしましました。専門家は、「粘土質の消失やメタンガス濃度の上昇でバスの再生は不可能。」と結論を出しています。同じ現象が琵琶湖の北側にある奥琵琶湖スポーツの森の『いづみの湖』にも見られ、バス群生は消滅していました。

琵琶湖岸での花バスの撮影は諦めかけもう少し車を北に走らせていると、何と、『早崎内湖ビオトープ』で花バスの群生を見つけました。

2年前の撮影となりますが、花バスの上でホバリング中の蜂を撮影しました。

『Hovering（ホーバリング）』

表紙写真の解説



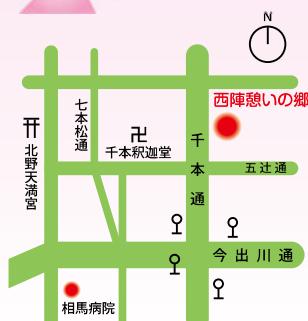
江村样上右颈样

紹介した出張にぎり寿司は、昭和52年創業の『寿しのむさし』さんが社会貢献の一環として二十年以上前から始めたサービスだそうです。『商売を通じて地域のお役に立つことを』との思いで市内の老人施設を訪問していく。さつているところで、普段外出が難しい入居者の方にも、握りたてのお寿司を味わってもらう貴重な機会となりました。今回の企画はレク班の職員の提案で実現したものです。みなさん本当に喜ばれていきました！ 美味しくて思わず私も追加注文してしまいました♪

編集後記

京都駅方面より…市バス 206・50系統
四条河原町方面より…
市バス 46・59・201系統
「千本今出川」バス停下車徒歩3分

(お問合せはこちらまで)
〒602-8476 京都市上京区桐木町885-1
TEL 075-431-1513
FAX 075-431-1514
E-mail:nishiiin-ikn@kitano-kenjukai.or.jp



◆施設のご案内◆